

平成23年度事務事業評価結果(教育委員会) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
1	教育委員会	スポーツ振興課	体育施設管理費	スポーツ施設の維持・運営に要する経費。	270,903	執行方法の見直し	【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】 スポーツ施設の維持・運営については、指定管理者制度を導入することによって民間ノウハウを活用し、市民サービスの向上が期待されるほか、維持管理費の縮減も見込まれることから、各地域に設置している屋内施設（体育館）を対象にスポーツ振興事業を含めた指定管理とする方向で、施設使用料の適正化と併せて進めたい。	スポーツ施設の維持・運営について、施設使用料の適正化を図るとともに、屋内施設（体育館）を対象に指定管理者制度を導入することとしていたが、対象施設の耐震の確保等に向け再検討する。	—
2	教育委員会	学事課	学校給食センター管理費	・河辺・雄和両学校給食センターの維持管理費。 ・河辺地区5校・雄和地区5校の安全でおいしい学校給食の調理業務を円滑かつ効率的に実施する。	46,429	執行方法の見直し	【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】 雄和学校給食センターの一部改修を行い、老朽化が著しい河辺学校給食センターを統合する。	学校給食センターの調理業務を統合するためには、学校統廃合や新行政改革大綱に掲げる「学校給食における調理業務民間委託の推進」と併せて検討する必要があるため。	—
3	教育委員会	学事課	小学校スクールバス運行経費	河辺、雄和、太平、下新城地区において小学校スクールバスを運行する。	3,906	執行方法の見直し	【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】 スクールバス運行の全部又は一部の民間委託。	正規職員（運転士）が配置されており、当面の間、業務の運営に支障がないため現行通りの対応とする。	—

平成23年度事務事業評価結果(教育委員会) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
4	教育委員会	学事課	小学校給食事業	小学校給食の運営経費。	110,986	執行方法の見直し	【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】学校給食調理業務の民間委託を推進する。	川尻小学校、山王中学校共同調理場および勝平小学校、勝平中学校共同調理場の給食調理業務を民間委託する。	—
5	教育委員会	学事課	中学校スクールバス運行経費	雄和、上新城地区において中学校スクールバスを運行する。	4,444	執行方法の見直し	【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】スクールバス運行の全部又は一部の民間委託。	正規職員（運転士）が配置されており、当面の間、業務の運営に支障がないため現行通りの対応とする。	—
6	教育委員会	学事課	中学校給食事業	中学校給食の運営経費。	56,489	執行方法の見直し	【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】学校給食調理業務の民間委託を推進する	川尻小学校、山王中学校共同調理場および勝平小学校、勝平中学校共同調理場の給食調理業務を民間委託する。	—
7	教育委員会	中央図書館 明徳館	明徳館河辺分館書籍配達経費	明徳館を基点に河辺分館および雄和図書館の3館間において、書籍・視聴覚教材等の配達を行う。	489	執行方法の見直し	【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】配達を必要とする図書資料等は、年々増加傾向にあるため、現行の週3便（火・木・土）を拡大するなどの改善が必要である。	河辺分館および雄和図書館で配達する書籍等の増加と、23年度開設する中央図書館明徳館文庫との配達も加わる。これらの配達の実施状況を精査し、配達計画全体を見直すなど今後の対応を検討する。	—

平成23年度事務事業評価結果(教育委員会) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
8	教育委員会	文化振興室	農林漁業資料館管 理費	農林漁業資料館の維持管理費。	1,229	縮小	地域の力を借りた開館方 法で、常駐職員を配置し ない運営方法を検討する こと。	左記事項を検討し、臨時 職員の削減、管理運営の 見直しを実施する。	—
9	教育委員会	文化振興室	雄和ふるさとセン ター管理費	雄和ふるさとセンター維持管理 費。	705	休・廃止	展示物については、必要 に応じて市民サービスセ ンターなどでの展示を検 討すること。	施設のあり方や収蔵資料 の他施設での活用につい て検討するとともに、平 成23年度から嘱託職員を 配置しないこととした。	—
10	教育委員会	雄和図書館	石井露月顕彰事業	全国から俳句、短歌、詩、川柳 の作品募集と入賞作品の表彰を行 う。	655	執行方法の 見直し	たとえば松山市が取り組 む正岡子規をモチーフに したまちづくりを参考 に、全市を巻き込んだ事 業内容を検討すること。	露月生誕140周年とな る24年度から本大会を 秋田市文化会館等で開催 するとともに、露月名品 展も併せて実施し、広く 市民を巻き込んだ大会を 目指す。また、名品展に ついては正岡子規記念博 物館と連携し、当館所蔵 の露月関係資料等の展示 など魅力ある内容を目指 す。	事業実施にあたっては、 地道な顕彰活動を念頭に 進めること。

平成23年度事務事業評価結果(教育委員会) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
11	教育委員会	スポーツ振興課	エンジョイスポーツ推進事業	秋田市スポーツ振興マスター プランの適切な進行管理のため、計画期間の中間年である平成20年度に実施した、スポーツに関する市民アンケート調査の結果等を踏まえ、生涯にわたってスポーツに親しむことができるようスポーツ教室等を実施するほか、幅広い世代の市民が健康づくりに取り組むことができるイベントを実施する。	4,509	執行方法の見直し	【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】 23年度を初年度とする新たなスポーツ振興プランを22年度内に策定するため、新プランの施策に従い、事業内容について検討する。	スポーツ教室を経常事業で実施することとし、新たな第2次スポーツ振興マスター プランの推進のため、幅広い世代が参加できるイベントやウォーキングの普及、PR活動に重点を置いて、新たに「はずむスポーツ都市推進事業」として、スポーツ振興基金を活用し実施する。	—
12	教育委員会	スポーツ振興課	市民スポーツ活動振興事業	身近で気軽にスポーツに親しむ環境づくりを促進するため、競技団体やスポーツ少年団、地区体育協会等への支援を行うほか、計画的に学校開放用事業用屋外用具庫を設置する。	14,118	縮小	委託経費のうち、諸経費のあり方を見直し、コストの縮減を図ること。	諸経費の算定方法を見直し、コストの縮減を図った。	—
13	教育委員会	スポーツ振興課	保健体育振興経費	学校体育施設開放事業管理指導員や各種スポーツ教室講師謝金、体育指導委員関係経費、健康のつどいやジュニア指導者養成セミナー開催経費、各種賞状印刷ほかスポーツ振興に係る経常経費。	6,535	他事業と統合	学校体育施設開放事業は、生涯学習室が所管するあきた家族ふれあいサンサンデー事業との統合を検討し、コスト縮減を図ること。	あきた家族ふれあいサンサンデー事業を学校体育施設開放事業に統合し、周知や事務手続きのコスト縮減を図った。	—
14	教育委員会	学校教育課	中学校補助教材購入経費	体育実技テキストと秋田市5万 分の1地形図を購入し、中学校補助教材として、中学校1年生に配布する。	2,867	縮小	体育実技テキストは、県内他市町村においてほとんど導入されていない状況であり、本市が当教材を必要とする理由を整理したうえで、保護者負担を検討すること。	平成23年度事業について、体育実技テキストの配付を廃止した。	—

平成23年度事務事業評価結果(教育委員会) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
15	教育委員会	学事課	小学校教育団体・各種大会出場費補助金	児童が各種大会に出場する場合に補助金を交付する。	420	他事業と統合	「中学校教育団体・各種大会出場費補助金」と統合したうえで、縮減を図ること	従来から、「秋田市立学校に関する教育関係団体補助金交付要綱」および「秋田市小・中学校各種大会（学校教育活動）出場費補助金交付要綱」にて運用しており、同一事業である。	—
16	教育委員会	学事課	中学校教育団体・各種大会出場費補助金	秋田市中学校体育連盟に対する事業費補助金及び生徒が各種大会に出場する場合に補助金を交付する。	10,218	他事業と統合	・「小学校教育団体・各種大会出場費補助金」と統合したうえで、縮減を図ること。 ・県大会補助金は廃止すること。	・従来から、「秋田市立学校に関する教育関係団体補助金交付要綱」および「秋田市小・中学校各種大会（学校教育活動）出場費補助金交付要綱」しており、同一事業である。 ・県大会出場費補助を廃止する要綱改正を行った(H23.4.1)	—
17	教育委員会	生涯学習室	河辺公民館管理費	公民館等の維持管理を行う。	4,897	他事業と統合	—	機構改革により、平成23年5月15日で河辺公民館が廃止された。	—

平成23年度事務事業評価結果(教育委員会) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
18	教育委員会	生涯学習室	子ども体験活動推進事業	公民館等で、土曜日に各種体験講座等を開催するとともに、あきた家族ふれあいサンサンデー（第3日曜日）に親子や地域の交流の場として小学校体育館等を開放する。また、子どものための遊びと学びの情報誌「プレスター」を発行する。	1,553	縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・あきた家族ふれあいサンサンデー事業は、スポーツ振興課が所管する学校体育施設開放事業との統合を検討すること。 ・プレスターについては、印刷物での発行を取りやめ、2か月スパン程度で情報を随時提供する手法を検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3日曜日に「あきた家族ふれあいサンサンデー」として実施していた学校開放事業については、スポーツ振興課に所管を換え「学校体育施設開放事業」と統合し、事業費を圧縮した。 ・印刷物での発行を取りやめ、ホームページ等で情報提供する。（子ども育成課が所管） 	—
19	教育委員会	生涯学習室	成人の日記念事業	市と教育委員会が主催し、運営協力委員が運営協力をする形式で進め、新成人を祝福し温かみのある内容とする。	1,777	執行方法の見直し	<p>【22年度事務事業評価で、部局が自ら提起した改革・改善案】</p> <p>記念行事のあり方を再考し、事前周知等で参加者のマナーの向上を図った。</p>		—
20	教育委員会	生涯学習室	生涯学習・社会教育推進経費	市民のライフステージに応じた現代的課題や地域課題に関する学習機会の拡充を図るほか、様々な分野の指導者や講師の養成と確保を進めながら、市民の学習成果を地域社会の活性化につなげていく体制づくりにつとめる。また、子ども会の活動を推進し、児童の育成を図る。	3,913	縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動を整理して、わかりやすい仕組みにしていく必要があるため、生涯学習奨励員活動については、公民館事業との重複を避けるなど事業内容を見直すこと。 	<p>生涯学習奨励員活動について、公民館事業との重複を避けるなど事業内容を精査し、「生涯学習奨励員自主企画事業」を廃止することとした。</p>	—

平成23年度事務事業評価結果(教育委員会) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
21	教育委員会	生涯学習室	雄和公民館管理費	雄和公民館の維持管理を行う。	4,263	他事業と統合	—	機構改革により、平成23年5月15日で雄和公民館が廃止された。	—